

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、令和元年9月9日に総務生活分科会を開催しました。

## 認定第1号 平成30年度総社市一般会計歳入歳出決算認定

### ～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定

### ～質疑～

問：市税のコンビニ収納の効果はどうか。

答：7月末時点では全体の20.3%の方が利用している。収納率が飛躍的に上がるというものではないが、納期内納付の収納率が昨年に比べて2.4%アップしており効果があると考えている。

問：あおり運転が問題になっているが、公用車へのドライブレコーダーの設置状況はどうか。

答：公用車が約160台あるが、ドライブレコーダーを設置している車は7台である。高速道路を使って市外、県外へ行く普通車へ優先的に設置しようと考えている。

問：総社駅前広場等駐車場管理機器保守点検委託料が年度途中で変更になっているのはなぜか。

答：他市においても駐車場の管理についてはフルメンテナンスで行われているところがほとんどであり、本市においても昨年8月からフルメンテナンスに変更したためである。

問：お試し住宅について利用状況はどうか。また全国へはどのような形でPRしているのか。

答：お試し住宅については、今年度から実施しており、現在2世帯の利用実績がある。PRについては移住定住フェアで県外に行った際にPRをしている。これからも移住定住フェアやホームページ等でPRしていく予定である。

問：市内に特定空家の対象となった物件はあるか。

答：市民からこの空き家は危ないのではないかという情報は入ってきている。特定空家の指定をしている空き家はない。できるだけ多くの情報をつかみ、危険な空き家について対応していければと考えている。

問：インターンシップの政策提言の中で実際に実施したものはあるのか。

答：インターンシップの政策提言については、現実にはできるものについては、実施していると考えている。雪舟くんの予約状況をホームページで確認できるようにするなど実際に実施したものがあ

**問：ふるさと納税の広報についてどの程度効果があったのか。また、現在の状況はどうか。**

答：広報の効果を金額的に把握するのは難しいが、新聞広告等をみて電話をしてきたケースもあり効果はあったと考えている。平成30年度については16億円程度のふるさと納税寄附金があったが、今年度は3億円から4億円程度の寄附額になるのではないかと考えている。

**問：職員の長期休暇についてどのような対応をしているのか**

答：ストレスチェックや月に1回は専門の先生によるカウンセリングを行っている。不調を起こした職員に対しては所属長と総務課職員係と調整を行い職場復帰に向けたプログラムを本人の状況に応じて行っているところである。

**問：税務総務費の時間外勤務手当が多くなっているが原因は何か。**

答：個人市民税の確定申告から当初賦課業務に向けての業務が多くなっていること、固定資産税においては新築家屋が増えており、業務時間内には現地調査へ行き、時間外に評価業務に当たるということで時間外勤務が増えている状況である。また昨年度は災害があり、罹災証明や減免の業務を通常業務に加えてする必要があったことも時間外勤務が増大した原因である。

**問：岡山市町村税整理組合に依頼した件数はどうか。また収納実績はどうか。**

答：平成30年度中に岡山市町村税整理組合へ新規に委託した件数は国保税を含めて515件である。収納実績は6,550万6,491円である。

**問：防火水槽改修工事の詳細はどうか。**

答：真壁と八代の防火水槽はどちらも漏水していたため、改修工事を行ったものである。

**問：人口が増えてきており、消防体制の見直しをする必要があるのではないか。**

答：消防力の整備指針によると市街地人口が3万5千人以上の場合は署所がもう一つ必要になるということもあるので、今後検討が必要であると考えている。

**問：消費税率の引上げもあり使用料手数料等の見直しが必要ではないか。**

答：使用料手数料等については、消費税の引上げもあるため、当然見直しが必要である。現在各課で見直し作業を行っており、来年度4月からの料金改正にむけて条例改正等を行っていきたいと考えている。